

試合番号 : 427	試合会場 : 依田翁記念体育館	観客数 : 623
開始時間 : 12:00	終了時間 : 13:45	試合時間 : 01:45
主審 : 富田 博一	副審 : 北村 友香	
<b>日立リヴァーレ</b> 通算 1勝 0敗 ポイント : 4	25 第1セット 8 23 第2セット 25 25 第3セット 15 25 第4セット 16 第5セット	<b>KUROBEアクアフェアリーズ</b> 通算 0勝 1敗 ポイント : 0
<b>監督コメント</b> 今年最初の試合、勝利をつかみ取ることができた事を嬉しく思います。チャレンジ4の戦いは、どのチームもよく思い切りぶつかって欲しいと思います。3日間全勝し、笑顔で終われるように全員で戦います。今日の2セット目は、自分たちの失点で相手に流れがいつてしまったので、明日は1本1本集中し、ミスの少ない試合をしたいと思っています。明日も引き続きご声援の程宜しくお願い致します。	<b>3</b>	<b>1</b> <b>監督コメント</b> チャレンジ4初戦、レギュラーシーズンの課題を克服し、初勝利したいところでした。1セット目出だしから日立のスピードあるサーブに、サーブレシーブが乱され、思うような攻撃が組み立てられませんでした。2セット目、相手のミスにも助けられ、ラリーへ持ち込み接戦を制することができました。しかし、3・4セット目やはりリスタートが悪く、連続失点で流れをつかむことができず、完敗となりました。残り2戦全力で頑張ります。今後ともご声援よろしくお願い致します。
<b>要約レポート</b> プレミアカンファレンス5位の日立リヴァーレとスターカンファレンス6位のKUROBEアクアフェアリーズの対戦は3-1で日立が勝利した。第1セット、日立はトップ、長内の活躍によりリードを広げた。KUROBEはリ、間楯の攻撃で応戦するが、終盤まで流れは変わらず日立がセットを先取した。第2セット、KUROBEはリ、日立は長内を中心に一進一退の攻防が続いた。日立リードで迎えた終盤、KUROBEが叫田、リーの攻撃で追い上げ、最後はリーの3連続得点によりセットを取り返した。第3セット、日立・窪田の2連続サービスエースもあり、日立リードで進行した。KUROBEはリ、冨田、綿引の攻撃で追いつけるが、日立が佐藤とタップの要所におけるブロックポイントにより終盤まで流れを相手に渡さず、セットを取った。第4セット、日立・タップのブロックとブロード攻撃により日立リードで進んだ。KUROBEは細沼、綿引の攻撃で粘るも、最後は日立・渡邊の攻撃で日立がセットを取った。		

試合番号 : 428	試合会場 : 依田翁記念体育館	観客数 : 690
開始時間 : 15:00	終了時間 : 17:26	試合時間 : 02:26
主審 : 吉岡 奈々	副審 : 増岡 三佳子	
<b>PFUブルーキャッツ</b> 通算 1勝 0敗 ポイント : 3	25 第1セット 21 22 第2セット 25 25 第3セット 22 18 第4セット 25 15 第5セット 12	<b>ヴィクトリーナ姫路</b> 通算 0勝 1敗 ポイント : 1
<b>監督コメント</b> 大きなプレッシャーがかかる中、フルセットで勝ち切れたのは大きい。ただ各セット、ミスがかさみセットを失うというパターンがあったのでそこを整理、修正して明日の試合を迎えたい。本日も応援ありがとうございます。	<b>3</b>	<b>2</b> <b>監督コメント</b> この大事な一戦に、たくさんの皆さんに足を運んでご声援いただき、本当にありがとうございました。「必ず勝つ」という選手たちの想いは強く感じましたし、感じていただけたと思いますが、最後勝ち切れずとても悔しいゲームとなりました。明日、明後日と大事な試合が続くので、明日に向け切り替え、すぐにできる修正ポイントなど、声をかけながら、もう一度チーム1つになり頑張りたいと思います。明日も大きなご声援をよろしくお願い致します。
<b>要約レポート</b> スターカンファレンス5位のPFUブルーキャッツとプレミアカンファレンス6位のヴィクトリーナ姫路の一戦。第1セットは、一進一退のスタートとなった。姫路は堅い守備から吉岡、イブナの攻めによって流れを作り、PFUはドリス、津賀、清水のブロックを起点に流れを引き戻す。激しい打ち合いは、PFUが制した。第2セットは、セッターの技量が光り、序盤はPFU・島畑のトス回しが冴えた。また、姫路のセッター堀込も速い攻撃でリズムを作った。終盤は姫路・田中の活躍により流れを掴み、このセットを取り返す。第3セットも一歩も譲らないセットであったが、中盤以降、PFU・堀口のサービスエース、津賀のスパイクにより流れを作り、接戦を制した。第4セットは、姫路がPFUのライト攻撃を抑え、PFUに傾いた流れを引き寄せた。最後はイブナのバックアタックでこのセットを取り返した。第5セットはまさに死闘となった。互いに意地のぶつかり合いとなったが、PFUは最後まで集中力を切らすことなく、この試合を制した。		

試合番号 : 429	試合会場 : サイデン化学アリーナ (さいたま市記念総合体育館)	観客数 : 1,200
開始時間 : 12:05	終了時間 : 13:49	試合時間 : 01:44
主審 : 桑原 健輔	副審 : 明井 寿枝	
<b>デンソーエアリービーズ</b> 通算 0勝 1敗 ポイント : 3	23 第1セット 25 22 第2セット 25 26 第3セット 28 第4セット 第5セット	<b>埼玉上尾メディックス</b> 通算 1勝 0敗 ポイント : 3
<b>監督コメント</b> 今日たくさんのご声援を頂いたことに深く感謝致します。ありがとうございました。ファイナル8の初戦のために良い準備はでき、序盤は勢いを作り良い入りが出来ました。デンソーもとても粘り出しましたが、相手が粘りて修正していきます。攻め続ける工夫や粘られた時の我慢の仕方を来週に向けて取り戻していきます。まだ初戦。あと2つを勝ち切ってセミファイナルに繋げます。今日も熱いご声援ありがとうございます。	<b>0</b>	<b>3</b> <b>監督コメント</b> レギュラーラウンド最終戦で勝てば2位、負ければ4位という試合で敗戦し、改めて一敗の重みを実感した。私達は、4位からファイナルステージ優勝を目指す上で、この一戦が非常に大事な一戦と位置付け、勝利に向けて準備してきました。第1〜3セット、全て序盤、相手にリードされる展開となったが、終盤に入ってから慌てずしっかり高さのある攻撃で点数を決めきれた事が勝因です。1位のチームに勝てた事で混戦のファイナル8となります。この一勝が次のステージの糧になるように、来週の2戦に向けて準備していきます。埼玉で開催という事で大勢のファンの声援に後押しされました。来週も千葉で開催されます。温かいご声援の程、引き続きよろしくお願い致します。
<b>要約レポート</b> ファイナル8・Aグループ、プレミアカンファレンス優勝のデンソーエアリービーズとスターカンファレンス4位の埼玉上尾メディックスとの対戦。第1セット、序盤から接戦が続く。中盤デンソー・鍋谷がサーブでレシーブを乱し、工藤の攻撃で連続ポイントを取る流れを作り、11-7とリードする。終盤、埼玉上尾がシュシュニアルにボールを集め反撃し、最後はブロックを決め先取る。第2セット、互いに譲らず一進一退の攻防が終盤まで続く。埼玉上尾が吉野とシュシュニアルで連続ポイントしてリードを保ち、最後は井上がアタックを決め連取る。第3セット、後がないデンソー、ここで欲しい埼玉上尾の打ち合いを両チームのリベロが好レシーブする見ごたえあるラリーが続く。埼玉上尾はシュシュニアル、サンティアゴの活躍で突き放そうとするが、デンソーは工藤とジャンが食らいつく。最後は埼玉上尾シュシュニアルの攻撃判定に両チームがチャレンジするが埼玉上尾が成功し、28-26で勝利する。		

試合番号 : 430	試合会場 : サイデン化学アリーナ (さいたま市記念総合体育館)	観客数 : 1,400
開始時間 : 15:00	終了時間 : 17:19	試合時間 : 02:19
主審 : 佐々木 伸子	副審 : 種元 桂子	
<b>東レアローズ</b> 通算 1勝 0敗 ポイント : 4	25 第1セット 16 23 第2セット 25 24 第3セット 26 25 第4セット 19 15 第5セット 8	<b>NECレッドロケッツ</b> 通算 0勝 1敗 ポイント : 2
<b>監督コメント</b> 1セット目、テンポ良くスパイクが決まりセットを取っておきながら、2セット目のスタートにリズムを崩し、連続失点を出して苦しい試合をしてしまった。今日の試合はハイセットの質も悪いと言え、スパイカーの大事な場面でのファイナルサーブは勝点となることから、1セット、1この隙なく取り組まなければならない。そういう意味では今日は波があり、スパイクのコンビ、ブロックとディグの関係もまだ不十分と言え、この1週間中、しっかり修正する。最後まで勝ち切れたのは、会場で観戦に来られ大声援を送って下さった方々の後押しがあったからこそです。本当に多くの方々に応援いただきまして、誠にありがとうございました。ファイナル8、Aリーグ、スターカンファレンス2位の東レアローズと、プレミアカンファレンス3位のNECレッドロケッツとの対戦。第1セット、序盤東レがサーブで崩すと、クラシ、黒後のスパイクで流れをつかむ。その後、NECは島村の速攻で応戦、東レは、多彩な攻撃を繰り広げ、一進一退の攻防が続く。中盤から、東レ石川が要所得点を重ねると、再び井上、大野のセンター陣の攻撃が勢いづき、完全に東レがペースをつかむと、25-16で先取る。第2セット、序盤NECは古賀のスパイクや、島村のブロックで流れをつかむ。東レは水村の好レシーブでチャンスを出し、得点を重ねる。中盤からNECは、堅守が光り東レのミス誘う。東レはクラシの攻撃で食ひ下がるも、NECは古賀、島村の気迫ある攻撃が決まり、25-23で2セット目を奪取る。第3セット、2セット目の流れを変えないNEC・セッター津田は、序盤から巧みなトスワークで相手を翻弄させる。小島の会場を沸かせる好レシーブから古谷と荒谷が連続得点を挙げていく。東レも大野のブロックや石川、黒後のスパイクでNECに迫り、1点を争う攻防を展開しデュースにもちこむ。最後は好調の古谷が東レエース石川をブロックし、26-24でセットを連取る。第4セット、後がない東レは、序盤から大野のブロックと黒後のスパイクで、流れをつかむ。NECは島村の速攻で、点差を詰めようとするも、最後まで攻守の集中力を欠かず手ゆるめない東レが25-19で逃げ切り、フルセットにもちこむ。手に汗握る展開で迎えた最終セット、序盤から高さに加え、気迫を前面にだした東レ・クラシの連続得点から流れをつかみ、8-3とリードして後半を迎える。NECは、リベロ小島、柳田を中心に、粘り		
<b>要約レポート</b> ファイナル8、Aリーグ、スターカンファレンス2位の東レアローズと、プレミアカンファレンス3位のNECレッドロケッツとの対戦。第1セット、序盤東レがサーブで崩すと、クラシ、黒後のスパイクで流れをつかむ。その後、NECは島村の速攻で応戦、東レは、多彩な攻撃を繰り広げ、一進一退の攻防が続く。中盤から、東レ石川が要所得点を重ねると、再び井上、大野のセンター陣の攻撃が勢いづき、完全に東レがペースをつかむと、25-16で先取る。第2セット、序盤NECは古賀のスパイクや、島村のブロックで流れをつかむ。東レは水村の好レシーブでチャンスを出し、得点を重ねる。中盤からNECは、堅守が光り東レのミス誘う。東レはクラシの攻撃で食ひ下がるも、NECは古賀、島村の気迫ある攻撃が決まり、25-23で2セット目を奪取る。第3セット、2セット目の流れを変えないNEC・セッター津田は、序盤から巧みなトスワークで相手を翻弄させる。小島の会場を沸かせる好レシーブから古谷と荒谷が連続得点を挙げていく。東レも大野のブロックや石川、黒後のスパイクでNECに迫り、1点を争う攻防を展開しデュースにもちこむ。最後は好調の古谷が東レエース石川をブロックし、26-24でセットを連取る。第4セット、後がない東レは、序盤から大野のブロックと黒後のスパイクで、流れをつかむ。NECは島村の速攻で、点差を詰めようとするも、最後まで攻守の集中力を欠かず手ゆるめない東レが25-19で逃げ切り、フルセットにもちこむ。手に汗握る展開で迎えた最終セット、序盤から高さに加え、気迫を前面にだした東レ・クラシの連続得点から流れをつかみ、8-3とリードして後半を迎える。NECは、リベロ小島、柳田を中心に、粘り		